長崎地本だより

発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町２番25号
℡　095-826-8844

長崎地本公式HP

長崎地本公式twitter

～第二の人生に向けて～　合同企業説明会開催

長崎地本（本部長　西田洋一郎陸佐）は、９月４日（水）に長崎インターナショナルホテル（長崎市）において、一般財団法人自衛隊援護協会福岡支部と共催し、令和元年度長崎県任期制隊員合同企業説明会を開催しました。説明会には49社の企業と、陸・空の任期満了退職予定隊員23名及び海の来年度以降任期満了予定隊員が研修生として５名の陸海の隊員が参加しました。

説明会は、長崎県内での再就職を希望する退職予定隊員を対象に、毎年１回、県内の優良企業を招へいし、再就職へと結びつけることを目的として就職援護業務の中で長崎地本が特に重要なものです。

また、今年度から参加企業を公募により募り、その中から参加企業を選定しました。募集企業を招へいし、昨年度よりも隊員ファーストの説明会として開催しました。

説明会に先立ち、参加企業に対し、自衛隊援護協会福岡支部の立願集訓練へのご協力をお願いしました。

説明会が開始されると、参加隊員は希望する企業ブースを訪れ、職務内容、賃金、福利厚生等の求人内容について真剣に説明を聞いていました。１回あたり30分程度の面談時間でしたが、自衛官らしきはきとした態度で、積極的に面談に臨んでいました。

説明会へ参加した隊員からは「具体的な話が聞けて就職意欲が高まった」「会社案内やホームページを見るより深まった」などの意見が寄せられ、企業側からも隊員について参加隊員と参加企業の両者にとって、充実した説明会になったとの好評を得られました。

また、今年度から参加企業を公募により募り、その中から参加企業を選定しました。募集企業を招へいし、昨年度よりも隊員ファーストの説明会として開催しました。

説明会に先立ち、参加企業に対し、自衛隊援護協会福岡支部の立願集訓練へのご協力をお願いし

大村航空基地で体験搭乗を実施

長崎地本（本部長　西田洋一郎1海佐）は8月21日（水）、第22航空隊の航空機（SH－60K）の支援を受け大村航空基地において、海上自衛隊大村航空基地の2機搭乗を実施しました。

当日は、前日までの悪天候から打って変わって、絶好の飛行日和に恵まれました。

募集対象者ら13名を含む計22名はSH－60Kに搭乗し、約20分間、大村湾の上空を飛び、パイロットの任務の付近で見ながら空の旅を満喫しました。

参加者は、搭乗前ブリーフィングを受けた後、フライトするまでの間に救命胴衣などの準備をしました。初めて装着する救命胴衣に戸惑いながらも搭乗員に手伝ってもらいながら、確実な装着の大切さを学んでいました。

また、航空機のエンジンがかかると、その大きな音に驚きながらも「空を飛ぶには大出力のエンジンが必要になるんですよ」との説明を聞き、大きくうなずいていました。

期待と緊張を胸に航空機に乗り込んだ参加者は、2機編隊で飛行する機内から大村湾と住宅地が密集しておりジオラマで見るような町並みを一望しながら、空の旅を終えました。

フライトを終えた参加者からは、「普段見慣れた大村湾と大村市を眺めることができて感動しました。」などの声があり、楽しそうに記念写真を撮るなどの場面もありました。

長崎地本は体験搭乗を通じて自衛隊に対する理解と関心を深めるとともに、今後も関係部隊等と連携し募集対象者へPRしていきます。（募集課企画班）

第6回橘神社清掃奉仕活動に参加

令和元年9月8日（日）、雲仙市千々石町にある軍神橘中佐が祀られている「橘神社」で隊友会島原半島支部（支部長　吉岡　誠一様）、長崎県自衛隊家族会雲仙地区協議会（会長　河内　繁信様）合同で清掃奉仕活動が行われ、島原地域事務所からも参加させていただきました。

この活動は、地元での奉仕活動の一環として、毎年9月16日に行われる秋季例大祭に合わせ、9月の初旬に実施しており、今年で6回目となります。

当日は台風一過で澄んだ青空となり暑さが厳しい中でしたが、両団体と神社関係者等約50名が集まり、吉岡支部長の挨拶、橘神社　橘昌樹宮司より安全祈願のお祓いを受け清掃作業が始まりました。

参加者は敷地内の草刈りや樹木の剪定など、それぞれの役割を手際良く行い、予定されていた時間内に無事に清掃活動を終えることができました。

活動中は大粒の汗も見られましたが、終了後は参加者も清清しい表情を浮かべ、全員でき年も秋季例大祭が多くの参列者で賑わうことを願って奉仕活動を終了しました。

島原地域事務所は今後も島原半島の関係団体の皆様と緊密な連携を図り、自衛隊への更なる理解促進に努めてまいります。

（島原地域事務所）

寄稿

飛行幹部候補生鍛錬行事（100キロ行軍）完遂

第22航空群（群司令　岡田　真典海将補）は、7月25日（木）・26日（金）の2日間にかけ、大村航空基地の飛行幹部候補生の鍛錬行事として100km行軍を実施しました。

本行軍は、飛行幹部候補生の気力の充実及び体力の練成を図るとともに、自衛官としての士気の高揚を図ることを目的とし、毎年実施しています。

行軍コースは、長崎港の入口に架かる女神大橋をスタート地点とし、西彼杵半島から佐世保を経て大村に至る大村湾沿いをほぼ1周する総行程101.1kmの経路であり、飛行幹部候補生14名の他、大村航空基地所属の有志隊員、総勢44名で敢行しました。

毎年5月に行われる行事ですが、今年は7月の実施となり例年より厳しい暑さの中での行軍となりました。

道中や各休憩地点において各地の防衛協会、隊友会、自衛隊家族会などの協力団体の皆様方からの温かい激励、自衛隊長崎地方協力本部の支援を受けながら着実に歩を進めました。

深夜にもなると、眠気や疲労に加え足腰の痛み等との闘いを強いられましたが、大村湾沿いの自然に癒しをもらい、また仲間と互いに励まし合いながら真夏の暑さに耐え、歩き続けました。

そして、開始から約30時間後、ゴール地点である大村航空基地において基地隊員、総出の温かい拍手と笑顔に迎えられ、飛行幹部候補生及び有志隊員総員が完歩を達成しました。

飛行幹部候補生は100km行軍を通じ、過酷な環境下でも目標を達成する海上武人の気概と、人のやさしさと温かさが与えてくれる力の尊さを学びました。

「今回の鍛錬で培った強靭な精神、仲間と助け合い目標を達成する団結の力、そして、我々自衛隊を支えてくれる多くの支援者の存在を糧に今後の訓練に臨み日々邁進していく。」と飛行幹部候補生としての決意を新たにした鍛錬行事となりました。

（第22航空群広報室）

人事

【特別昇任】

陸曹長へ

1等陸曹　下柳　洋

令和元年9月27日付

准陸尉へ

陸曹長　山内　勇

令和元年10月11日付

【定年退職】

陸曹長　下柳　洋

令和元年9月27日付

お疲れになりました

准陸尉　山内　勇

令和元年10月11日付

お疲れになりました